

## 安全データシート

# Gasket Replacer 910

### 項目 1: 物質/製剤および会社/企業の特定

#### 1.1. 製品識別子

製品名: Gasket Replacer 910  
製品番号: MS-910

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

物質または混合物で関連の特定使用: 接着剤  
産業用専用。  
対提言使用: 不明。

#### 1.3. 安全データシートの供給業者の詳細

会社と住所: **Hernon Manufacturing Inc**  
121 Tech Drive  
FL 32771 Sanford  
USA  
T: +1-407-322-4000  
www.hernon.com  
担当者: Hernon SDS Coordinator  
電子メール: customerservice@hernon.com  
SDS 日付: 2024/07/05  
SDS バージョン: 4.0  
前作成日: 2024/07/05 (3.0)

#### 1.4. 緊急連絡用電話番号（受付時間）

緊急時には119（24時間サービス）に電話すること  
公益財団法人 日本中毒情報センター：+81-72-727-2499  
項目4を参照：応急措置

### 項目2: 危険有害性の要約

JISZ7252に基づく分類。

#### 2.1. 物質または混合物の分類

Skin Corr. 1A; H314, 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
Skin Sens. 1; H317, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
Eye Dam. 1; H318, 重篤な眼の損傷。  
STOT SE 3; H335, 呼吸器への刺激のおそれ。  
Carc. 1B; H350, 発がんのおそれ。  
Aquatic Acute 2; H401, 水生生物に毒性。  
Aquatic Chronic 2; H411, 長期的影響により水生生物に毒性。

## 2.2. ラベル要素

危険有害性の絵文字:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 (H314)  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 (H317)  
 呼吸器への刺激のおそれ。 (H335)  
 発がんのおそれ。 (H350)  
 水生生物に毒性。 (H401)  
 長期的影響により水生生物に毒性。 (H411)

注意書き:

概要:

-

安全対策:

使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201)  
 保護眼鏡/保護衣着用 すること。 (P280)

▼応急措置:

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。  
 (P303+P361+P353)  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/ 手当てを受けること。 (P308+P313)

保管:

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 (P403+P233)

廃棄:

内容物/容器を現地の規制に廃棄すること。 (P501)

▼危険有害性成分:

Aromatic trifunctional methacrylate  
 Polyethylene Glycol Dimethacrylate  
 Acrylic acid  
 Cumene hydroperoxide  
 Cumene

追加ラベル付け:

産業用専用。

## 2.3. その他の危険有害性

### 項目3: 組成及び成分情報

#### 3.1. 成分

該当なし. この製品は混合物です。

#### 3.2. 混合物

製品 / 成分	識別子	% w/w	分類	注記
Aromatic trifunctional methacrylate	CAS番号 : 機密事項 EC番号 :	40-70%	Skin Sens. 1, H317	
Polyethylene Glycol Dimethacrylate	CAS番号 : 25852-47-5 EC番号 : 607-819-8	10-30%	Skin Irrit. 2, H315 Skin Sens. 1, H317 Eye Irrit. 2, H319 STOT SE 3, H335	

			Aquatic Chronic 3, H412	
Acrylic acid	CAS番号 : 79-10-7 EC番号 : 201-177-9	3-7%	Flam. Liq. 3, H226 Acute Tox. 4, H302 Acute Tox. 4, H312 Skin Corr. 1A, H314 Eye Dam. 1, H318 Acute Tox. 4, H332 STOT SE 3, H335 (SCL: 1.00 %) Aquatic Acute 1, H400 (M=1) Aquatic Chronic 1, H410 (M=1)	
Cumene hydroperoxide	CAS番号 : 80-15-9 EC番号 : 201-254-7	1-5%	Org. Perox. E, H242 Acute Tox. 4, H302 Acute Tox. 4, H312 Skin Corr. 1B, H314 (SCL: 10.00 %) Skin Irrit. 2, H315 (SCL: 3.00 %) Eye Dam. 1, H318 Acute Tox. 3, H331 STOT SE 3, H336 STOT RE 2, H373 Aquatic Chronic 1, H410 (M=1)	
Cumene	CAS番号 : 98-82-8 EC番号 : 202-704-5	0.1-1%	Flam. Liq. 3, H226 Asp. Tox. 1, H304 STOT SE 3, H335 Carc. 1B, H350 Aquatic Chronic 3, H412	

セクション16のHフレーズの全文を参照のこと。職業ばく露限界は利用可能な場合は、セクション8に記載されている。

#### その他の情報

-

### 項目4: 応急措置

#### 4.1. 応急処置の解説

##### 一般情報:

事故の場合：医師または緊急部門に連絡すること - ラベルまたはこの安全データシートを持参する。

被害者の状態に疑問がある場合、または症状が継続する場合は、医師に連絡すること。絶対に意識不明の人に水やその他の飲み物を与えないこと。

##### 吸入した場合:

呼吸困難や気道を刺激した場合：被害者が新鮮な空気を吸える場所に移動し、一緒に付き添う。

##### 皮膚に付着した場合:

露出した部分を長時間（少なくとも30分）水で洗い流す。数

- 時間流す必要がある場合もあります。快適な水温（20-30℃）を使用すること。毒物情報/医師/病院に連絡し、経過観察および治療に関する詳しいアドバイスを受ける。  
汚染された衣類や靴を直ちに取り除くこと。必ずばく露した皮膚を水と石鹼で十分に洗う。皮膚清拭剤も使用できる。溶剤やシンナーは絶対に使用しない。  
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
- 眼に入った場合: 十分な水または食塩水(20-30℃)で少なくとも30分間目を洗い、刺激が止まるまで続ける。コンタクトレンズを外すこと。上下まぶたの下も洗うこと。直ちに医師の診断を受け、続けて洗うこと。直ちに医師の診察を受け、移送中には洗い流しを続けます。
- 飲み込んだ場合: 摂取の場合は、安全データシートまたはラベルを持参して、直ちに医師に連絡すること。被害者の意識がある場合は、水を与える。医師の勧めがない限り、絶対に嘔吐を誘発しないこと。嘔吐物が口や喉に戻るのを防ぐために頭を下にして押さえる。被害者を暖かくして落ち着かせ、ショックを防ぐこと。呼吸が止まったら直ちに蘇生を開始すること。意識不明の場合は、被害者を回復体位にすること。救急車を呼ぶこと。
- やけど: 該当なし。
- 4.2.** 重大な症状と作用の大部分には、急性および遅延性の両方がある  
感作：この製品には、肌への接触時にアレルギー反応を起こす可能性のある物質が含まれている。アレルギー反応の兆候は、通常、ばく露後12~72時間以内に発生する。  
組織への有害な影響：この製品には、皮膚腐食性の物質が含まれている。吸入した蒸気またはエアロゾルは呼吸器の刺激ややけどのほか、咳など肺への副作用を発生させる。皮膚や眼との接触は不可逆的な作用を起こす。
- 4.3.** 何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示  
ばく露またはばく露の懸念がある場合:  
直ちに医師に診察/手当てを受けること。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

#### 医師に対する特別な注意事項

この安全データシートを持参のこと。

### 項目5: 火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

適切：耐アルコール泡、炭酸、粉末、水ミスト。

不適切: ウォータージェットは火を広げる可能性があるため、使用してはならない。

#### 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

火は濃い煙をもたらす。燃焼製品にさらされると、健康に害を及ぼす可能性がある。火にさらされた密閉容器は、水で冷却するべきである。絶対に、消火水が下水や近くの地表水に入らないようにする。

例えば火災など製品が高温にさらされた場合、危険な分解化合物が生成される。これらは次がある：

酸化硫黄

窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

酸化炭素 (CO / CO<sub>2</sub>)

## 5.3. 消防士に対する助言

接触を防ぐために、自給式呼吸装置と防護服を着用すること。直接ばく露した場合は、引き続き助言を得るために緊急サービス（119）に連絡すること。

## 項目6: 漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した物質との直接接触は避けること。  
とりわけ密閉区域における換気を適切に行うようにする。  
流出物質からの蒸気を吸入しないこと。  
汚染区域は滑りやすい場合がある。

### 6.2. 環境に対する注意事項

湖、小川、下水道などへの排出を避けること。周辺への漏れが発生した場合は、地域の環境当局に連絡すること。

### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不燃性、吸収性物質で流出物を入れて収集します。砂、土、パーミキュライトまたは珪藻土を廃棄し、地元の規制に従って廃棄できるように容器に入れます。  
洗浄は可能な限り、通常の洗浄剤で行う。溶剤の使用は避けること。

### 6.4. 他のセクションを参照

廃棄物取り扱いの追加情報に関してはセクション13を参照。  
適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。

## 項目7: 取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全に取扱うための注意事項

廃水システムや周辺環境への排出を防ぐために、廃棄物収集トレイを設置することを推奨する。  
製品との直接接触は避けること。  
妊娠中および授乳期中は接触を避けること。  
作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。  
作業者保護に関する情報については、「ばく露制御/個人保護」のセクションを参照のこと。

### 7.2. あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

しっかりと閉じた容器に保管し、湿気や光から影響されることなく保管すること。容器には開けた時の日付を付け、過酸化物の存在を定期的に検査する必要がある。絶対に保管期間の制限を超えないこと。

鍵をかけた場所に保管すること。有毒物質を警告する標識は製品がある部屋や食器棚に表示するべきである。

開封した容器は、漏れを防ぐために慎重に再び封じ、直立で保管する必要がある。

推奨保管材料: 必ず元の容器と同じ物質の容器に保管すること。

保存温度: Keep at temperatures between 7 and 29 °C.

混触危険物質: 強酸化剤

### 7.3. 特定の最終用途

この製品はセクション1.2で引用した応用のみに使用しなければならない。

## 項目8: ばく露防止及び保護措置

## 8.1. 許容濃度

Cumene

長期ばく露制限（8時間）(mg/m<sup>3</sup>):

長期ばく露制限（8時間）(ppm): 10

Skin = 経皮. 吸収皮膚と接触することにより、経皮的に吸収される量が全身への健康影響または吸収量からみて無視できない程度に達することがあると考えられる物質である。許容濃度は、経皮吸収がないことを前提として提案されている数値であることに注意する

許容濃度等の勧告（2023-2024年度）, 2023年5月10日 日本産業衛生学会

## 8.2. 暴露の管理

所定の職業ばく露限界値への準拠は、定期的に制御しなければならない。

一般的な推奨事項:

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

ばく露シナリオ:

"この製品にはばく露シナリオは実装されていない。

暴露限界値:

プロの利用者は職業ばく露のために法的に設定された最大濃度が対象になる。上記の労働衛生限界値を参照のこと。

適切な技術的管理:

物質を含む出口の空気を再循環させないこと。  
蒸気の発生を最小にして、電流を制限値以下に保つ必要があります（上記を参照）。作業室内で通常の空気の流通が十分でない場合、局所排気システムを設置することをお勧めします。緊急洗眼液に明確にマークが付いていることを確認します。

洗眼場と安全シャワーが至近距離にあるようにする。  
本製品の使用中には、標準的予防措置が適用されます。蒸気の吸入を避けます。

衛生対策:

製品の使用の間と、作業日の終わりには、体のすべてのばく露部分を徹底的に洗浄する必要があります。手、前腕、顔には特に注意を払います。

環境暴露管理:

職場の近くにせき止め材を保管すること。可能であれば、作業中にこぼれたものを収集すること。

## 個人の保護措置

一般的:

CEマークが付いた保護具のみを使用すること。

呼吸用保護具:

特定の要件なし


身体保護具:

推奨	タイプ / カテゴリ	標準	
-	Protective Clothing		

手の保護具:

Nitrile Rubber

保護眼鏡/保護面:

推奨	標準	
サイドシールド付き 安全メガネ	EN166	

## 項目9: 物理的及び化学的性質

### 9.1. 基本的な物理学および化学的特性に関する情報

物理的状:	ゲル
色:	紫
臭い:	刺すような/鼻にツンとくる
臭気しきい値 (ppm) :	利用可能なデータなし
pH:	利用可能なデータなし
比重 (g/cm <sup>3</sup> ):	1.1
粘度:	利用可能なデータなし
:	液体には適用されません。

#### フェーズの変更

融点・凝固点 (°C):	利用可能なデータなし
:	液体には適用されません。
▼ 沸点/沸騰範囲 (°C):	>149.0
▼ 蒸気圧:	<10 mmHg
蒸気密度:	利用可能なデータなし
分解温度 (°C):	利用可能なデータなし
蒸発速度:	

#### 火災および爆発の危険性に関するデータ

▼ 引火点 (°C):	>93.3
引火性 (°C):	利用可能なデータなし
自然発火温度 (°C):	利用可能なデータなし
爆発 (燃焼) 限界の上限および下限 (% v/v):	利用可能なデータなし

#### 溶解度

水中の溶解度:	利用可能なデータなし
分配係数 (LogKow):	利用可能なデータなし
脂肪の溶解度 (g/L) :	利用可能なデータなし

### 9.2. その他の情報

揮発性有機化合物(VOC):	
:	利用可能なデータなし.
:	利用可能なデータなし

## 項目10: 安定性及び反応性

### 10.1. 反応性

極めて反応性に富み、内部に過酸化物が蓄積して自動的に重合する。これらの反応で形成される過酸化物は、非常に衝撃や熱に弱い。

### 10.2. 化学的安定性

製品は「取り扱いと保管」のセクションに記載されている条件下で安定している。

### 10.3. 危険有害反応可能性

不明。

### 10.4. 避けるべき条件

Incompatible Materials

### 10.5. 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6. 危険有害な分解生成物

熱分解は、腐食性蒸気を発生させる。

## 項目11: 有害性情報

### 11.1. 毒物学的作用に関する情報

#### 急性毒性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 刺激性/腐食性

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

#### 重篤な眼の損傷/刺激

重篤な眼の損傷。

#### 呼吸器ま感作

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 皮膚感作

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

#### 変異原性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 発がん性

発がんのおそれ。

Acrylic acid: 物質はIARCでグループ3に分類されている。

#### 催奇形性 / 発育への影響

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

呼吸器への刺激のおそれ。

#### 特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

#### 呼吸に対する危険有害性



使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

## 健康への慢性効果の可能性

**発がん作用：**この製品には、発がん性があると考えられる物質またはそれが証明された物質が含まれている。発がん作用は、吸入、皮膚との接触または摂取を通じてばく露の後に引き起こされる可能性がある。

**組織への有害な影響：**この製品には、皮膚腐食性の物質が含まれている。吸入した蒸気またはエアロゾルは呼吸器の刺激ややけどのほか、咳など肺への副作用を発生させる。皮膚や眼との接触は不可逆的な作用を起こす。

## 項目12: 環境影響情報

### 12.1. 毒性

長期的影響により水生生物に毒性。

### 12.2. 残留性・分解性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

### 12.3. 生体蓄積性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

### 12.4. 土壌中の移動性

利用可能なデータなし。

### 12.5. 12.5.PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

### 12.6. その他の悪影響

この製品には、環境に有害な物質が含まれている。水生生物に悪影響を及ぼす可能性がある。本製品には水生環境に長期的な悪影響を及ぼす可能性がある物質が含まれている。

## 項目13: 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

内容物/容器をに廃棄すること。

### 特定のラベル

### 汚染された包装

製品の残渣を含む包装は製品と同様に処分する必要がある。

## 項目14: 輸送上の注意

	14.1 国連番号	14.2 輸送固有名	14.3 範疇	14.4 PG*	14.5 Env**	その他の 情報:
ADR	-	-	-	-	-	-
IMDG	-	-	-	-	-	-
IATA	-	-	-	-	-	-

\* 容器等級

\*\* 環境有害性

追加情報

この製品は危険物の輸送規制範囲内である。

14.6. 使用者のための特別な予防措置

該当なし。

14.7. MARPOL条約の附属書IIおよびIBCコードによるばら積み運搬

利用可能なデータなし。

## 項目15: 適用法令

15.1. 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律

応用の制限:

産業用専用。

18歳未満の方は、本製品へのばく露を避けるべきである。妊娠中の女性や授乳中の女性はこの製品にさらされないようにする必要がある。ばく露を排除する必要がある作業場のリスク、可能な技術的な予防措置または設計を考慮する必要がある。

特定教育に対する要求:

特定の要件なし。

その他の情報:

該当なし。

既存および新規化学物質 (ENCS):

Cumene hydroperoxide がリストされています

毒物及び劇物取締法:

どの化学成分も表示されていない。

化管法 (PRTR):

Acrylic acid リストに載っています (第一種指定化学物質)  
Cumene hydroperoxide リストに載っています (第一種指定化学物質)  
Cumene リストに載っています (第一種指定化学物質)

有機溶剤中毒予防規則:

どの化学成分も表示されていない。

ソース:

GHS に基づく化学品の分類方法. JIS Z 7252 (2019)  
GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS). JIS Z 7253 (2019)

## 項目16: その他の情報

セクション3に記載のHフレーズ全文

H226, 引火性の液体および蒸気。

H242, 熱すると火災のおそれ。

H302, 飲み込むと有害。

H304, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H312, 皮膚に接触すると有害。

H314, 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

H315, 皮膚刺激。

H317, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H318, 重篤な眼の損傷。

H319, 強い眼刺激。

H331, 吸入すると有毒。

H332, 吸入すると有害。  
H335, 呼吸器への刺激のおそれ。  
H336, 眠気やめまいのおそれ。  
H350, 発がんのおそれ。  
H373, 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。  
H400, 水生生物に強い毒性。  
H410, 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。  
H412, 長期的影響により水生生物に有害。

セクション1に記載の識別された使用の全文  
不明。

#### 略語と頭字語

ACGIH = アメリカ産業衛生専門家会議  
ADN = ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定  
ADR = ヨーロッパ道路危険物運送条約  
ATE = 急性毒性見積  
BCF = 生物濃縮係数  
CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス  
EINECS = 欧州既存商業化学物質リスト  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
IARC = 国際がん研究機関  
IATA = 国際航空運送協会  
IMDG = 国際海上危険物規程  
LogPow = オクタノール／水分配係数の対数  
MARPOL = 1978年の議定書によって修正された1973年船舶による汚染防止のための国際条約  
NIOSH = 国立労働安全衛生研究所  
OECD = 経済協力開発機構  
OSHA = 労働安全衛生局  
RID = 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制  
RRN = REACH登録番号  
SCL = には特定の濃度限界値 (SCL) がある。  
STEL = 短期ばく露限界  
STOT-RE = 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)  
STOT-SE = 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)  
TWA = 時間加重平均  
UN = 国際連合  
VOC = 揮発性有機化合物

#### 追加情報

健康被害に関する混合物の分類はJISZ 7252の計算方法に従う。  
環境の危険に関する混合物の分類はJISZ 7252の計算方法に従う。

安全データシートは次により確認される

SDS Coordinator

#### その他

変更 (最後の本質的な変更 (SDS バージョンの最初の文字、セクション1を参照) に対して) は、青い三角形で表示されている。  
この安全データシートの情報はこの特定製品 (セクション1に記載) にのみ適用され、他の化学薬品 / 製品で使用する場合は必ずしも正しいものではない。  
この安全データシートを、製品の実際の利用者に渡すことを推奨する。この安全データシートの情報は製品仕様としては使用できない。

国-言語 : JP-ja